

敦賀市議会

議会だより

12月
定例会

CONTENTS

議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
審議結果一覧・賛否が分かれた議案一覧・・ 3～4
常任委員会審査報告・・・・・・・・・・・・ 5～8
特別委員会中間報告・・・・・・・・・・・・ 8～9
一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～15
議会日誌、3月定例会の日程・・・・・・・・ 16

令和5年度
議会報告会を
開催しました！



参加いただいた皆様
ありがとうございました。

令和5年11月16日（木） プラザ萬象大ホールにて開催した議会報告会の様子



今後の紙面構成の参考にさせていただきますので、
議会だよりについてのアンケートにご協力ください。
こちらのQRコードよりアンケートページにアクセスできます。

音訳（CDに録音）された議会だよりもありますので、ご希望の方は社会福祉協議会（電話 0770-22-3133）までご連絡ください。

議会報告会を開催しました。

令和5年11月16日（木）プラザ萬象大ホールにおいて議会報告会を開催し、33人の方にご参加いただきました。

報告会は、第1部「議会からの報告」、第2部「意見交換」の二部構成で行いました。第2部の意見交換では「新幹線開業後の敦賀に期待すること」をテーマとし、グループに分かれて活発な議論が交わされました。

今後も引き続き、市民の皆様にとって身近な議会を目指し取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

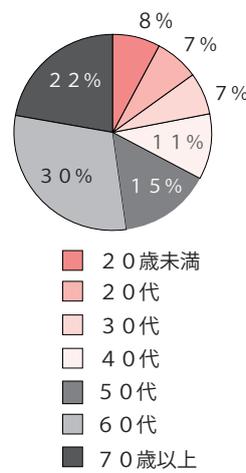


第2部 意見交換の様子

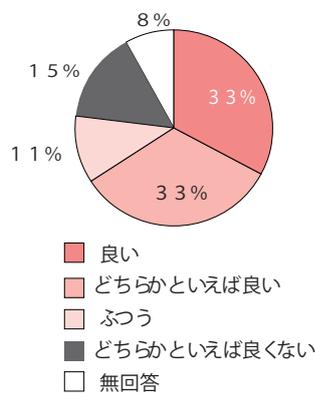


アンケート結果（一部抜粋）

◎参加者の年齢

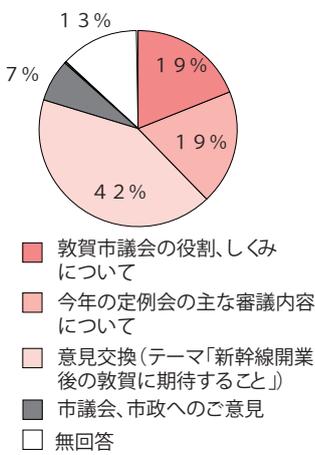


◎今回の議会報告会はいかがでしたか？



※「良くない」の回答はありませんでした。

◎報告会の内容で、良かったものは何ですか？



◎出前議会報告会

昨年度に引き続き、令和5年度も各団体を訪問して、出前議会報告会を開催いたしました。

敦賀市立看護大学、福井大学敦賀キャンパス 学生・教員



開催日：11月20日（月）
開催場所：敦賀市立看護大学

観光ボランティアガイドつるが



開催日：11月17日（金）
開催場所：敦賀市立図書館

敦賀市スポーツ協会



開催日：12月21日（木）
開催場所：敦賀市総合運動公園体育館

ご参加いただきありがとうございました！



※なお、議会報告会の報告書は、ホームページに掲載しています。

審議結果一覧

令和5年11月28日から12月19日まで開催された令和5年第5回定例会では、37件の議案及び2件の請願を審議しました。

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第70号議案	令和5年度敦賀市一般会計補正予算（第7号）※	予算決算	12/19 可決
第71号議案	令和5年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部及び施設勘定の部）特別会計補正予算（第1号）	予算決算	12/19 可決
第72号議案	令和5年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第2号）	予算決算	12/19 可決
第73号議案	令和5年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	12/19 可決
第74号議案	令和5年度敦賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	予算決算	12/19 可決
第75号議案	令和5年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第2号）	予算決算	12/19 可決
第76号議案	令和5年度敦賀市水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	12/19 可決
第77号議案	令和5年度敦賀市下水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	12/19 可決
第78号議案	職員の給与に関する条例等の一部改正の件	総務民生	12/19 可決
第79号議案	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正の件	総務民生	12/19 可決
第80号議案	敦賀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正の件	総務民生	12/19 可決
第81号議案	敦賀市印鑑条例の一部改正の件	総務民生	12/19 可決
第82号議案	敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件	総務民生	12/19 可決
第83号議案	敦賀市環境保全条例の一部改正の件	総務民生	12/19 可決
第84号議案	敦賀市市税賦課徴収条例の一部改正の件	文教厚生	12/19 可決
第85号議案	敦賀市公設地方卸売市場条例の一部改正の件	産経建設	12/19 可決
第86号議案	敦賀市空き家等の適切な管理に関する条例の一部改正の件	産経建設	12/19 可決
第87号議案	敦賀市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正の件	文教厚生	12/19 可決
第88号議案	指定管理者の指定の件	産経建設	12/19 可決
第89号議案	市道路線の廃止の件	産経建設	12/19 可決
第90号議案	市道路線の認定の件	産経建設	12/19 可決
第91号議案	新たに生じた土地の確認の件	産経建設	12/19 可決
第92号議案	字の区域の変更の件	産経建設	12/19 可決
第93号議案	新たに生じた土地の確認の件	産経建設	12/19 可決
第94号議案	字の区域の変更の件	産経建設	12/19 可決
第95号議案	公有水面埋立てについての意見の件	産経建設	12/19 可決

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第96号議案	公有水面埋立てについての意見の件	産経建設	12/19 可決
第97号議案	敦賀市一般廃棄物最終処分場建設工事(土木)請負契約変更の件	総務民生	12/19 可決
第98号議案	敦賀市一般廃棄物最終処分場建設工事(埋立処分棟建築)請負契約変更の件	総務民生	12/19 可決
第99号議案	敦賀市一般廃棄物最終処分場建設工事(浸出水処理施設)請負契約変更の件	総務民生	12/19 可決
第100号議案	令和5年度敦賀市一般会計補正予算(第6号)※	予算決算	11/28 可決
第101号議案	敦賀市公平委員会委員の選任につき同意を求める件	—	12/19 同意
第102号議案	敦賀市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求める件	—	12/19 同意
第103号議案	敦賀市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求める件	—	12/19 同意
第104号議案	敦賀市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求める件	—	12/19 同意
第105号議案	敦賀市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求める件	—	12/19 同意
第106号議案	敦賀市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求める件	—	12/19 同意
請願第5号	美術館等の施設についての請願	文教厚生	12/19 採択
請願第6号	国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める請願	文教厚生	12/19 不採択

※第100号議案については、第70号議案 令和5年度敦賀市一般会計補正予算(第6号)より先に可決されたため、補正番号及び補正前後の金額等の計数整理を行いました。

賛否が分かれた議案等一覧

賛成・反対の双方があった議案等については以下のとおりです。(賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議案番号	市政会									市民クラブ				日本共産党 敦賀市会 議員団		公明党		峻正会		無	無	無	
	河瀬 太治	高城 庄佑	縄手 博和	川端 耕一	浅野 好一	大石 修平	中野 史生	田中 和義	馬淵 清和	有馬 茂人	山本 武志	豊田 耕一	今川 博	松宮 学	山本 貴美子	中道 恭子	大塚 佳弘	三田 村峻	北條 正	吉田 隆昭	籠太 一朗	橋本 彬穂	
第70号議案	○	○	○	○	○	○	○	欠	議長	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	
第79号議案	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第82号議案	○	○	○	○	○	○	○	欠		○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	×	×	×	×	×	×	×	欠		×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わっていません。 無：無所属

・ 予算決算
常任委員会

〔第70号議案〕
令和5年度敦賀市一般会計補正予算（第7号）

質疑

◎コミュニティバス運行事業費

問 一部バス路線のルートを変更し、新幹線開業後の金ヶ崎方面への需要に対応とあるが、具体的にどのような変更となるのか。

答 金ヶ崎近くを走行するバスについて、ルートを変更し金ヶ崎経由の便を増やす予定であり、東浦線では土日祝日で4便増便、松原線では全ての日で2便増便を考えている。

自由討議

意見 新幹線開業後には、便数やルートも含めて、デマンド交通の導入と併せて検討し、制度設計を行う必要があると考える。

質疑

◎商店街活性化対策費補助金

問 制度拡充とあるが、何を拡充するのか。

答 令和6年3月の北陸新幹線敦賀開業までに、各商店街が取り組む総仕上げの事業を厚く支援するため、これまでの補助率が3分の1であったものを4分の3に引き上げるものである。

討論

反対 社会保障・税番号制度システム

改修事業費は個人の尊厳を侵害するような制度改正によるシステム改修であること、給食センター建設事業費は全ての学校給食を給食センター方式に統一するものであることなど、賛成できない事業が含まれていることから反対。

賛成

社会保障・税番号制度システムの向上につながることで、給食センター建設事業費は、センター方式に統一することにより、給食・食育がなされると考えること、将来の新幹線が来たときの音楽フェスも含めて、非常に大事な予算がこの中に計上されていることなどから賛成。

質疑

◎新幹線敦賀開業まちづくり推進会議負担金

問 音楽フェスの具体的内容について伺う。

答 きらめきみなと館のイベントホール、小ホール、そして市民文化センターを会場に使い、令和6年9月の2日間で開催を予定している。また、金ヶ崎緑地では、飲食出展やグッズ販売に加え、新幹線敦賀開業まちづくり推進会議のイベント部会メンバーなどによる独自企画を行う予定としている。

2日間で、県外からを含む約7000人の来場を目標としており、新幹線開業後の誘客策として、敦賀来訪を目的とした新たな観光資源を創出すること、官民連携による市民の誇りになるイベントにすること、そして、近隣商店街等の商業振興、経済効果の発現を狙うことの三つの実現を目指したいと考えている。

自由討議

意見 新幹線敦賀開業まちづくり推進会議には、今までいろんな形で貢献いただいている。音楽フェスに関しても成功事例の一つとして、新幹線開業後もこのようなイベントや、団体の活動を続けられるようにしてほしい。

質疑

◎給食センター建設事業費

問 事業用地不動産鑑定業務手数料91万1900円は、どの部分の土地を定するためのものなのか伺う。

答 用地交渉の前段として不動産価格を調査するものであるが、旧成新小学校の南側、西側及び北側の敷地を交渉し、より正方形に近い形にしていきたいと考えているため、その分の調査手数料である。

採決

賛成多数
原案どおり認めるべきものと決定

総務民生
常任委員会

〔第82号議案〕

敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件

質疑

問 コンビニエンスストアでの各種証明書交付の手数料減額について、期間を2年間とした根拠について伺う。

答 市民の皆様幅広く周知を行い、マイナンバーカードをお持ちでない方も、申請、取得を行い、コンビニエンスストアで証明書を取得する利便性を実感いただくのに、おおむね2年あれば十分可能ではないかと考えており、他自治体の例も参考に設定した。

問 減額する金額を150円とした根拠について、他自治体を参考にしたとのことだが、その具体的な例について伺う。

答 全国及び県内の事例を調査し、県内では150円減額の団体が4団体、100円減額の団体が4団体であり、敦賀市と人口規模が同程度の越前市及び鯖江市、また、隣接する美浜町が150円減額である事例を参考にした。

問 コンビニエンスストアでの証明書交付にかかる、年間のランニングコストはいくらか。

答 全体の交付数のうち、約30%がコンビニエンスストア交付に移行した場合であるが、システムの利用料が約430万円、運営の負担金が約270万円、委託手数料が約200万円となり、合計で約900万円のランニングコストを想定している。

討論

賛成 市役所の閉庁時でも、市外でも申請書を発行できるといふ、費用を上回る利便性を捉えて、必要な改正であると考ええる。

賛成 マイナンバーカードの普及促進につながる一助になると考える。市民の利便性向上のためにも、今後しっかりと広報をしていただきたい。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第83号議案〕
敦賀市環境保全条例の一部改正の件

質疑

問 今回の改正により、事業者に対し、住民への説明責任などの努力義務が課されることになるが、今後、市民からの苦情等があった際には、市役所はどのように関わることになるのか。

答 これまで、苦情が寄せられても、相手方が法律で規制される対象事業者でない場合や、法律の規制基準を守っている場合、協力を求めることが困難な場合もあったが、今回の改正により、努力規定ではあるものの、事業者に対して住民等への説明責任が発生するたため、それを根拠とし、市としても住民と事業者の間に入ることが容易になると考える。

討論

賛成 これまでの条例では、事業者と周辺住民との関係に係る規定はなかったが、今回、努力規定が設けられたことにより、事業者と周辺住民の良好な関係につながると考える。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

● 産経建設
常任委員会 ●

〔第85号議案〕
敦賀市公設地方卸売市場条例の一部改正の件

質疑

問 売買取引の形態が、競り売りから相対取引に移行したことにより、早期開場の必要性が低下したとのことであるが、内容の詳細を伺う。

答 競り売りの場合は、商品陳列などの準備のため、競りの開始1時間前である午前5時に開場していたが、相対取引に移行したことにより陳列作業等が不要となったため、午前6時に開場することとした。

問 市場の開場時間が1時間遅くなる

ことで、職員の労働時間や給与に変更は生じないのであるか。

答 職員の1日当たりの労働時間は変わらないことから、給与にも変更は生じない。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第88号議案〕
指定管理者の指定の件

質疑

問 理事者側からの配布資料「敦賀市駅前立体駐車場指定管理者候補者選定委員会の選定結果報告書」において、選定基準の1つに「利用者へのサービス向上」があるが、選定団体であるタイムズグループの点数が高かった主な理由について伺う。

答 タイムズグループの自主事業として、カーシェアリングや立体駐車場特設ホームページの作成、また、周辺店舗との連携、そして自動販売機などの設置の提案があった。各社から、それぞれ工夫を凝らした提案事業及び自主事業の提案をいただいたが、最終的にタイムズグループの提案が選定委員会の委員からの評価が高かった。

問 提案の中で、住民の声を反映する体制として、特に工夫されている点などはあったか。

答 現在も行っている取組みではあるが、立体駐車場の利用に関するアンケートによって、利用者の声を集め、その意見に対して、改善できるものは改善を行い、よいところはさらに伸ばしていくということであった。

討論

賛成 現在の指定管理者が選定されたことで、継続して立体駐車場を管理していただけることはよいと思う。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第90号議案〕

市道路線の認定の件

質疑

問 市道路線に認定する部分で、幅員が3メートルないし4メートル未満の部分について、今後、拡幅する計画はあるのか。

答 市道の幅員について、現道はそのまま、新たに整備したところは6メートル以上確保している。現時点で、

現道の拡幅予定はない。

問 市道坂下12号線の袋路状道路についても、除雪区域に入っているのか。

答 除雪する予定である。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

・ 文教厚生
・ 常任委員会

〔第84号議案〕

敦賀市市税賦課徴収条例の一部改正の件

質疑

問 今回の改正により、産前産後期間の国民健康保険税が免除されるということだが、その対象期間について伺う。

答 単胎妊娠の場合は、産前の月、出産の月と産後2か月で合わせて4か月、多胎妊娠の場合は、産前3か月、出産の月と産後2か月で合わせて6か月の期間が免除になるといふものである。

問 出産の予定日が大きく前後した場合ほどのように考えられるのか。

答 出産前に届出をしていなくても、出産後の届出により、遡って減額措置される。

問 令和6年1月1日から施行であるが、減額の対象期間はいつからになるのか。

答 令和6年1月1日以降が減額の対象になる。例えば令和5年11月に出産した場合、産前の月、出産の月と産後のひと月目が終わっているため、ひと月分だけが減額措置される。

討論

賛成 産前産後期間は収入が少なくなるため、国民健康保険被保険者の所得割額及び均等割額を減額するこの条例は大事である。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔請願第5号〕

美術館等の施設についての請願

意見 敦賀市には文化施設が足りないと感じている。そういったものを統合

するものとして、美術館がふさわしいと思う。

意見 文化的に価値があるものを保存することは大事である。保存状態が悪くて価値がなくなっていくことはもつたいない。日常的に展示品が見られる場があるというのは敦賀市にとってメリットになる。

意見 市単独では経済的にも負担が大きいと思うので、県立美術館の誘致を働きかけることは必要と思う。

討論

賛成 市内で活動している方の発表の場が少ないため、福井市美術館や県立美術館で発表会が行われている。本来なら、敦賀にそうした美術館があるべきで、市民の美術に対する意識の向上が図られると思うので賛成である。

採決

全会一致

採択すべきものと決定

〔請願第6号〕

国民のいのちと健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める請願

意見 処遇改善はしていかなければならないと思うが、診療報酬・介護報酬・障害報酬の抜本的な引き上げと同

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。
 ※1段目は常任委員会、2段目以降は特別委員会についての記事です。

時に患者・利用者負担軽減策も実施するととなると、財源も同時に考えなくてはならず、持続可能な仕組みにならないのではないか。

意見 ケア労働者が生きがいをもって、暮らしも成り立たせて働き続けなければ、それこそ持続的ではなくなくなってしまふ。財源は国がしっかり出して、利用者の負担を減らしていくなど、抜本的な改善が求められていると思う。

意見 離職の原因は給料ではなく、職場の環境にあると考えるため、研修など勉強の場をつくって支援し、離職を少なくしていく方法をとったほうがいいと思う。賃上げをしたからといって人員が増えるとは思えない。

討論

反対 財政面の負担も同時に考慮して、持続可能な仕組みとなるよう責任ある運営をすべきである。

賛成 ケア労働者が安心して働き続けることができるよう、また、それに見合った賃金をもらえるように、国の責任として改善すべきである。

採決

賛成少数
 不採択とすべきものと決定

原子力発電所
 特別委員会

日本原子力発電株式会社関係

質疑

問 審査中となっている敦賀発電所2号機について、日本原電から何か報告を受けているのか。

答 審査状況については、適宜、報告を受けている。例えば、12月8日に開催された審査会合の報告内容などについて報告があった。市としては、審査会合で使用する資料などの説明を受ける中で分からないことを確認しているほか、原子力規制庁との議論の中で、どういったやりとりがあるのか確認している。

その他の関係

質疑

問 嶺南Eコースト計画推進会議の中で、池澤副市長から求めた内容で、原子力リサイクルビジネスについて、法律及び技術面の課題をクリアした上で、廃炉の円滑化や地域振興に寄与するビジネスモデルを構築することとあ

るが、具体的にはどういうことか伺う。

答 「法律及び技術面の課題」とは、集中処理施設を建てるための法規制の課題や、クリアランスなのかどうかを判断する調査方法に関する課題のことである。

また、「地域振興に寄与するビジネスモデル」とは、県の今後の計画で、企業連合体を設置し、集中処理施設を運営するとしている中で、できるだけ地元企業の参入ができるようにして、産業に寄与していくといった意味である。

問 もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉に係る第1回コンソーシアム会合について、これまでコンソーシアム委員会として在り方検討が進んできたと思うが、コンソーシアム会合と名前が変わり、どこが変わったのか、また、どういったメンバーで構成されているのか。

答 現在、文科省・機構においては、詳細設計に取り組んでいるため、より具体的に議論をするというところで名前を変えて取り組んでいる。また、委員については、日本原子力産業協会の理事長、日華化学の取締役執行役員、敦賀商工会議所、若狭湾エネルギー研

究センター、日本原子力学会の会長、日本アイソトープ協会の専務理事、東洋紡、福井大学と京都大学の先生、原子力機構などが参加している。

新幹線対策
 特別委員会

北陸新幹線の整備状況について

説明 軌道、電気、機械工事、駅舎工事は順調に進んでおり、全ての進捗率が90%を超えていること、車両基地工事の新築工事については、11月で建築線敦賀以西の進捗状況に関し、12月5日に開催された北陸新幹線事業推進調査に関する連絡会議についての報告があった。

質疑

問 北陸新幹線事業推進調査の進捗状況は、市民にも提示があるとの認識でよいか。

答 連絡会議には、沿線市町は出席しておらず、福井県が出席しており、県から市への資料提供とあわせ、鉄道・運輸機構のホームページにも掲載される。

駅前広場整備について

説明 おおむね工事の契約が完了しており、現在盛土工事やキャノピー工事が完了したところから、側溝工事、照明工事、消雪工事、緑化空間の階段工事などを順次現場着手していることなどの報告があった。

質疑

問 照明灯の設置は、どのように計画しているのか。

答 駅前広場の照明については、キャノピーの下に歩道用の照明を設置し、駅前広場に高さ10メートルのポール型の道路照明、緑化空間との間の歩道の部分にはローポールの照明、緑化空間には高さ約5メートルのポール型の照明をそれぞれ設置する計画になっている。

並行在来線について

説明 ハピラインふくいの利用者説明会が1月18日にプラザ萬象で開催されること、ハピラインふくい開業時に適する普通運賃、定期運賃が決定されたこと、ハピラインふくとJR西日

本の連絡運輸範囲及びハピラインふくとIRいしかわ鉄道の連絡運輸範囲などの報告があった。

質疑

問 資料ではI C O C Aを利用と記載があるが、S u i c a等も利用できるのか。

答 I C O C A以外の交通系ICカードも利用できる。

廃棄物対策 特別委員会

新清掃センター整備事業について

説明 旧水処理施設の解体工事を終え、今後の設計及び工事に係る補完資料として活用するため、整備事業者によるボーリング調査が実施された。令和6年1月に仮設工事、2月から造成工事に入る予定である。

質疑

問 最終処分場の件でも、ボーリングの本数が問題になったが、今回、何本くらい行っているのか。

答 このボーリング調査は、整備事業

者の判断で行っており、建築予定地地実施し、入口と出口の計量棟やストックヤードなど計6か所で行われ、地盤の状況を把握し、基礎工法の検討など、設計の精度を高める目的で行われている。

問 2月からの造成工事に際し、現清掃センターが供用中のため、車両の動線等、安全に対する配慮をどうするのか。

答 事業者には、混雑時の交通整理など安全配慮を設計協議の中でしっかりと伝えたい。

新一般廃棄物最終処分場整備事業 について

説明 埋立処分棟建築工事は、11月上旬に着工し、浸出水処理施設建設工事は、12月中旬から着工している。土木工事は12月までに進捗率が90%を超える予定で、残る工事の内容は、場内の舗装、建物周辺の雨水排水設備工事等である。この施工時期は、埋立処分棟や浸出水処理施設の建屋が立ち上がり、外部の足場等を撤去した約10か月後になる予定のため、この間工事を進めることが出来ない。そのため、残工事は今回の契約変更で切り離し、約

質疑

問 埋立処分棟建築予定地東側の整備されたのり面の上に、土がたくさん盛ってあるが、これは今後、圃場整備に使われるのか。

答 埋立処分棟建築後の周辺の埋め戻しに使用する。

◎北 條 正

- 1 玄蕃尾城、金ヶ崎城、天筒山城と金ヶ崎周辺について
 - (1) 玄蕃尾城
 - (2) 天筒山城と金ヶ崎城
 - (3) 金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画
- 2 地域行政について
 - (1) 地域の現状と地域サポート職員
 - (2) 区長会、公民館との関係
- 3 除雪体制と消雪装置について
 - (1) 除雪体制と課題
 - (2) 消雪装置と課題

◎籠 太一郎

- 1 今後の介護福祉の在り方について その3
 - (1) 独居高齢者等の緊急通報システム
 - (2) 在宅介護負担軽減策
- 2 空き家等の適切な管理について
 - (1) 中心市街地を除く地域の空き家対策
 - (2) 桜ヶ丘町市営住宅の現状と課題
- 3 野坂山周辺の保全と再興について
 - (1) 放置森林のリスクマネジメント
 - (2) 林業経営モデルらの構築
- 4 敦賀市独自の音楽フェスティバルについて

◎豊 田 耕 一

- 1 1次産業の現在と未来について
 - (1) 市内農業・漁業の現状と課題
 - (2) 検討中である道の駅の可能性
 - (3) 人口減少の克服に向けた取組
- 2 奨学育英資金貸付制度について

◎今 川 博

- 1 北陸新幹線工事実施に伴う沿線地域への工事影響等について

◎有 馬 茂 人

- 1 金ヶ崎周辺整備について
- 2 気比神宮周辺整備について
 - (1) 神楽1丁目商店街の整備
 - (2) 旧北小学校跡地の利活用
- 3 部局横断案件の対応について

◎大 石 修 平

- 1 デジタル地域通貨「ふくいはびこコイン」について
- 2 ゼロカーボンシティに向けた取組について

◎三田村 峻

- 1 一般廃棄物最終処分場建設費について
- 2 令和5年統一地方選でのインターネットを用いた有料広告について
- 3 市役所におけるカスハラについて
- 4 マイナンバーカード活用、デジタル化について

◎中 野 史 生

- 1 駅周辺整備の現状と課題、今後の在り方について

◎河 瀬 太 治

- 1 放射性廃棄物について
 - (1) 中間貯蔵施設
 - (2) 最終処分場
- 2 敦賀市民の新幹線の利用促進について
- 3 自動運転について
 - (1) 自動運転技術の必要性
 - (2) 自動運転の実証実験地
- 4 防災公園について
- 5 自転車のヘルメット補助金について
- 6 敦賀の味の保全について
- 7 旧常宮小学校の整理状況について

◎大 塚 佳 弘

- 1 北陸新幹線敦賀開業が迫る現状認識と展望について
 - (1) 金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画の取り組みと課題
 - (2) 中心市街地等の回遊性向上の対応と課題
 - (3) 新幹線敦賀開業まちづくり推進会議の活動と期待
- 2 市民の健康と物価高騰からの生活を守る取り組みについて
 - (1) 敦賀市の主要ワクチン接種の現状と今後の展開
 - (2) 物価高騰からの市民の生活を守る支援策の推進

◎縄 手 博 和

- 1 公共のごみ箱設置について
- 2 路上喫煙禁止条例について
- 3 敦賀市環境保全条例の一部改正について

◎橋 本 彬 穂

- 1 観光振興について
 - (1) 新幹線かがやきを題材にした商品
 - (2) つるがシェアサイクルでの観光周遊
- 2 健康診断について
 - (1) 人間ドックの受診率
- 3 ペットの環境対策について
 - (1) ペット同行避難への取組と現状と同伴避難所
 - (2) 新たなドッグランの設置

◎浅 野 好 一

- 1 第7期敦賀市障がい福祉計画について
 - (1) 第6期敦賀市障がい福祉計画の進捗状況
 - (2) 敦賀市の障がい者の現状
 - (3) 次期障がい福祉計画策定
- 2 第3期敦賀市障がい児福祉計画について
 - (1) 第2期敦賀市障がい児福祉計画の進捗状況
 - (2) 敦賀市の障がい児の現状
 - (3) 次期障がい児福祉計画策定

◎山 本 貴 美 子

- 1 放課後児童クラブについて
 - (1) 開所時間の延長
 - (2) 指導員の拡充
 - (3) 利用料の減免
- 2 市営住宅について
- 3 困窮者への食糧支援について

◎川 端 耕 一

- 1 農業振興について
 - (1) 就農支援
 - (2) 耕作放棄地支援
- 2 産業団地について
 - (1) 県営産業団地
 - (2) 敦賀市の新産業団地

◎高 城 庄 佑

- 1 新幹線開業に伴う観光誘客と金ヶ崎周辺整備について
 - (1) 新幹線開業に伴う観光誘客
 - (2) 金ヶ崎周辺整備
- 2 移住定住促進支援策について
 - (1) 敦賀市における移住定住支援の概要
 - (2) 地域おこし協力隊制度

◎田 中 和 義

- 1 市長の市政方針について
- 2 新型コロナウイルス感染症について
- 3 敦賀FM不感地域について
- 4 敦賀シェアサイクルについて

◎吉 田 隆 昭

- 1 地域公共交通計画について
 - (1) 運転手の確保
 - (2) ライドシェア
 - (3) 障がい者への対応
- 2 金ヶ崎魅力向上デザイン計画について
 - (1) 計画の実現性
 - (2) 有名ブランド店の招致
 - (3) 住民のための緑地
 - (4) ウォータープラザは必要か
 - (5) マルシェとは
 - (6) 転車台公園
 - (7) 劇場の利用法
 - (8) ホテルマウンドとスイーツマウンドの緑化
- 3 9月定例会での理事者の答弁について
 - (1) 浸水シミュレーションの情報提供
 - (2) 避難行動要支援者の避難訓練
- 4 地域サポート職員制度について

◎松 宮 学

- 1 金ヶ崎緑地の開発について
- 2 介護保険について

◎山 本 武 志

- 1 企業参入と市民生活の安全について
 - (1) 現状把握
 - (2) データセンターの事例
 - (3) 実効的な対策に向けて



北條 正
(峻正会)

玄蕃尾城、金ヶ崎城、天筒山城と金ヶ崎周辺について

問 玄蕃尾城について、保存や観光を考慮して、長浜市と協力して、金ヶ崎城のように保存活用計画を策定や調査が必要だが、市長のお考えを伺う。

答 土塁からの土の流出も進んでいくことから全体の保存方法を専門家と検討し保存活用計画の策定、調査が必要で、敦賀市と長浜市にまたがった立地でもあり長浜市と相談しながらやっていきたいと考えている。

問 続日本100名城になって以来、観光客が増えている現状での説明板や見学通路の整備、駐車場の整備も必要かと思うが、お考えを伺う。

答 玄蕃尾城の説明板は老朽化等に より改修を検討している。一方、見学の通路や駐車場の整備は保存活用計画の策定が必要となるが、危険箇所等の改修は文化庁に許可を得て着手は可能であり玄蕃尾城保存会と連携して対応していきたいと考えている。



籠太一朗
(無所属)

今後の介護福祉の在り方について その3

問 独居高齢者等の緊急通報システム装置は要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の一人暮らしで元気な方でも装置は貸与できる制度なのか。

答 緊急通報装置は要介護等の要件がなくても申請することができる制度である。

敦賀市独自の音楽フェスティバルについて

問 どのようなフェスなのか具体的なイメージ、加えて現在の進捗状況は。

答 きらめきみなと館等を会場に使用し、金ヶ崎緑地では飲食出店やグッズ販売に加え、イベント部会メンバーなどによる独自の企画も行う予定。2日間で県外を含む7000人の来場を目標とし、官民連携による市民の誇りとなるイベントを目指して参りたい。



豊田耕一
(市民クラブ)

1次産業の現在と未来について

問 1次産業の推進は、若い人のUターン・Iターンにつながり、担い手不足解消や人口減少対策にもつながると思うが、1次産業の推進と道の駅の検討によって、人口減少対策の有効な手段につなげるストーリーを、市長はどのように描いているのか。

答 若い人が1次産業を担って、本市の成長産業として農業、漁業をやっていく道筋が、客観的な調査によって見えてくれば、道の駅設置に向けた検討を進めていきたいと考えている。

問 1次産業の後継ぎのためにも、養殖漁業等の1次産業にしっかりと向き合う所存だが、敦賀真鯛・敦賀ふぐ等、養殖業の成長産業化戦略について道の駅調査の仕様書に入れて、検討をすべしと考えるがいかがか。

答 これから協議をしていく中で、豊田議員の思いをはじめ、農業・漁業の振興も含めて、話を進めていきたいと考えている。



今川 博
(市民クラブ)

北陸新幹線工事実施に伴う沿線地域への工事影響等について

問 敦賀開業後の新幹線車両走行に おける沿線住宅地への振動、騒音等について事前予測対応又は将来予測対応等について特に、大蔵地区、余座地区については、従来余座池見といわれ、藤ヶ丘住宅地も過去には軟弱地盤が造成され現在の住宅地となり、地層は中池見と同じく沼地である。敦賀開業後の新幹線車両のスピード予測も敦賀駅よりスタートした福井方面行き新幹線車両は深山トンネル付近では100キロ以上と想定されており、今後の走行車両による高架橋からの振動、騒音が将来心配されるのでそれらの対応方法を伺う。

答 新幹線車両両走行の騒音や振動測定については、開業時に公道での一次測定、家屋での二次測定と段階的に行い敦賀市としても環境基準を超える家屋に対しては防音対策等工事によりしっかりと対応するよう鉄道運輸機構に求めてまいります。



有馬茂人
(市政会)

金ヶ崎周辺整備について

問 金ヶ崎エリアに宿泊機能付きレストラン「オーベルジュ」やスイーツショップを整備する方針が示されている。金ヶ崎緑地は市民の大事な憩いの場なので、敦賀市は市民向け説明会を早急に開催し一部の観光客のためになぜ開発するのかという市民感情の払拭に努力すべき。

答 方法は今後検討するが、福井県、敦賀市、民間事業者と共同で市民向け事業説明会を開催したい。

部局横断案件の対応について

問 地域公共交通の再編や北陸新幹線開業に向けての対応等、庁内の部局横断案件の対応について窓口を一本化して進めて欲しい。

答 令和6年4月の庁内の組織改編や人事異動に向け「公共交通再編」と「まちづくり」に関連した部局横断組織の組成を検討している。



大石修平
(市政会)

デジタル地域通貨「ふくいはびコイン」について

問 他市町では、はびコインを利用した独自施策の展開が始まっているが、敦賀市における検討状況を伺う。

答 現在、新しい総合計画の策定を進めており、デジタルの力を活用しつつ、地域の課題解決や魅力向上を加速したい。その手段としてはびコインの活用は有効であり、今後、コスト等を勘案して活用を検討してまいりたい。

問 はびコインの仕組みを使って市民活動団体へ寄付ができる仕組みを導入することで、市民活動の周知と団体への新たな加入者の増加、活動の活性化につなげることはできないか。

答 はびコインを使った市民活動団体への支援は、市民活動の活性化につながる一つの方法であると考えており、仕組みとして可能かどうか県に確認している。今後も県の制度や他自治体の活用事例を参考にし、市民活動団体の意見も伺いながら調査研究していきたい。



三田村峻
(峻正会)

一般廃棄物最終処分場建設費について

問 追加で予算が必要になった過程について瑕疵はないと考えるか。また、追加の予算が必要になっても後か先かに過ぎず問題ないという考え方は適切でないと考えるがどうか。

答 瑕疵があったとは考えていない。予算の増額、工期の延長が生じた点について真摯に受け止めている。

マイナンバーカード活用、デジタル化について

問 マイナンバーカードを含め、幅広い業務に対応する上で現在のデジタル推進室の働き、位置づけについて現在と将来とどう考えるか。

答 現在は庁内DXの部署になっていくと認識している。それが完了した後、推進室には新たにミッションを出さなければならず、その仕事の量に合わせて組織内の扱いについても検討していく必要があると考える。



中野史生
(市政会)

駅周辺整備の現状と課題、今後の在り方について

問 東西の自由通路はないが、西口から乗って東口のJRのほうにも行き来できるということではどうか。

答 JR切符は西口で買って、そのまま東口のほうの新幹線、特急にも乗れる。東口に来て、そこでハピライの切符を券売機で買って、新しい新幹線駅舎を抜けて元の北陸本線の方のハピラインにも乗れる。

問 敦賀の未来への繁栄と発展を望むなら、東と西を自由に行き来できる通路が必要不可欠であり、なぜ駅構想の設計図にそれを組み込めなかったのか。

答 駅構内が広く、通路の直線だけで50億円以上の事業費が必要。駅東は現在、工業専用地域であり、日常的に行き来する人も少ないことから、費用対効果の面からも実現は難しいと判断した。



河瀬太治
(市政会)

敦賀市民の新幹線の利用促進について

問 新幹線開業を控え、敦賀市民の新幹線の利用を促進する施策がないかお聞きしたい。

答 「北陸新幹線敦賀開業みんなで応援プロジェクト」がスタートし、市民から開業に向けたメッセージを集めたCMが放送され、市内高校生と協力して進めてきた、開業カウントダウンボードの設置、ポスターの掲出、イルミネーションの点灯が予定されている。

敦賀の味の保全について

問 昨今、敦賀で長年親しまれた飲食店の閉店が多くなっている。市として、レシピの保管や継承の仲介を実施し、味の保全が可能かお聞きしたい。

答 レシピ選定の公平性の観点等から、行政としてシステムの構築は難しいが、敦賀市の食文化発信のため、今後も事業承継に取り組みつつ、味の保全についても考えたい。



大塚佳弘
(公明党)

北陸新幹線敦賀開業が迫る現状認識と展望について

問 新幹線敦賀開業まちづくり推進会議の今後の活動を伺う。

答 つながりの薄かった組織や事業者が開業を契機とし、同じ方向を向きオール敦賀体制でもてなし・にぎわいの活動を行っている。自らまちづくり事業を実施する団体が集まり民間主導の柔軟な取組みを議論し、支援できる組織となった。新幹線のまちとして、敦賀独自の魅力あるまちづくりを加速していく。

市民の健康と物価高騰からの生活を守る取り組みについて

問 令和5年度以降のコロナワクチン接種対応について伺う。

答 令和6年度からは、個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的とし、新型コロナウイルス感染症を予防接種法のB類疾病に位置づけた上で、定期接種として実施する。



縄手博和
(市政会)

路上喫煙禁止条例について

問 敦賀市がきれいなまちであり続けるために、路上喫煙禁止条例を制定していただけないか。

答 本市の新幹線開業後の状況や福祉など先進自治体の取組状況を注視しながら検討してまいりたい。また、喫煙者のマナー向上に向けた取組みの必要性は認識しており、今後も市民の皆様への啓発に努めてまいりたい。

敦賀市環境保全条例の一部改正について

問 問題が発生した場合、敦賀市はどう対応していくか。

答 この規定を根拠に事業者と住民の間に入りやすくなるため、今後、新幹線開業等により様々な事業者の参入が見込まれる中、これまで以上に市民に寄り添った対応を図ってまいる。



橋本彬穂
(無所属)

ペットの環境対策について

問 敦賀市ではペット同行避難マニュアルを作成しないのか。

答 今後、平常時の避難準備や災害時の対応について分かりやすく解説する避難マニュアルを作成したいと考えている。

問 ペットと一緒に避難できる場所の周知方法を伺う。

答 現在、同行避難マニュアルの作成を検討しており、完成した際には市民の皆様にもしっかりと周知をしていき、ペットとの同行避難については市のホームページ等でも広報しているが、今後こうした広報を強化していく。

問 同じ施設の中で避難生活を送れる場所はあるのか。

答 開設する避難所において受け入れられているが、施設によりスペースの確保が困難な場合もあり一部の施設では現状対応を検討している。



浅野好一
(市政会)

第7期敦賀市障がい福祉計画について

問 当計画の令和8年度末での福祉施設入所者数数値目標を119名に増やしてもらいたいが見解を伺う。

答 社会福祉法人から施設建設計画が提出されたため、建設に伴う入所者数の増加を反映した計画の修正案にて、令和6年1月に再度自立支援協議会全体会を開催し、3月末までに次期計画を策定する予定である。

第3期敦賀市障がい児福祉計画について

問 障がい児を受入れする機関、事業所の支援員のスキルアップ研修の場合、支援員の育成について見解を伺う。

答 敦賀市自立支援協議会の療育部会において、市内の療育体制の充実と連携強化につながる協議や取組みを実施している。今後も希望を確認するなど、充実した研修場の提供となるよう努める。



山本貴美子
(日本共産党敦賀市会議員団)

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブは保育園よりも開所時間が短く、延長保育もないため、子どもが小学校にあがると子育てと仕事の両立が難しくなる。保護者が安心して働き続けられるように、児童クラブの開所時間を延長すべき。

答 指導員の不足が課題。時間延長も視野に入れ募集を行っている。

問 時間延長やゆとりある環境にするためにも、職員の増員が必要であり、そのためには職員の処遇改善が求められているが、市の見解を伺う。

答 処遇改善は行っている。今後も、人事院勧告等に従い改善したい。

問 3歳児以上の保育料は無料。児童クラブの利用料も、せめて低所得世帯や多子世帯への減免制度を設けるべきと考えるが、いかがか。

答 現在のところ、考えていない。



川端耕一
(市政会)

農業振興について

問 新規就農者支援について、対象者年齢の拡大と親等の農業を引き継いだ者も対象者として検討してはどうか。

答 現在の支援メニューにおいて年齢制限が課せられているのは、長く従事して欲しいとの思いがあり、年齢の幅を広げるためには、一定の継続期間の要件を設ける必要があると考えている。国・県・市それぞれの新規就農に対する支援を念頭に置きながら、就農者を増やすために、市として出来ることを考えていきたい。

問 耕作放棄地の所有者への通知に際し、現場の写真を添付しているのか伺う。

答 写真添付は分かりやすいことだと考える。農業委員会からの指導や市の補助金を遠方の方に説明をするとき、ケース・バイ・ケースだと思いが、今後、写真添付を考えていきたい。



高城庄佑
(市政会)

新幹線開業に伴う観光誘客と金ヶ崎周辺整備について

問 3月16日に向けて市の動きがやや分かりにくいとの声があるがどういった動きがあるのか。

答 まちづくりに関して、敦賀市としては、民間主導で行い、市はそれを支え、盛り上げることが本来であるとの考えであり、新幹線誘客に関しては昨年度から、官民連携した機関である「新幹線敦賀開業まちづくり推進会議」を構成し、おもてなし部会、情報発信部会、イベント部会の3部会ごとで活動している。

それぞれにボランティア活動の働きかけや、タクシー業界に対する研修会などさまざまな活動を実施しているが、特に3月16日、17日には本場に多くの各種団体が様々なイベントを計画しており、推進会議としてはそれらを冊子にまとめするなど、一つの行事ごととして、市民の皆様に分かりやすい形で発信していく。



田中和義
(市政会)

敦賀シェアサイクルについて

問 新幹線開業が近づく中、つるがシェアサイクルの活用はさらなる期待が膨らむ。その中で改正道路交通法の施行によって全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となった。行政として、率先して対応する必要がある。現在はヘルメットの無償貸出しを行っているが、事務所まで行かなければ借りられない。どの場所でもヘルメットが必要だとしたら、準備するにしても衛生的な観点から対応が非常に難しいことと考える。ヘルメットの努力義務化、そして衛生面も含めて、市としての認識、今後の対応についてお聞きする。

答 現状では、無人のサイクルポートでは、常に消毒するなどヘルメットを清潔に保つのは困難、全ての利用者の方に着用を促すというのは非常に難しい状況となっております。整備される場所は限られているが市の施設があるようなシェアサイクルのポートについては設置を検討させていただきたいと考えている。



吉田隆昭
(無所属)

金ヶ崎魅力向上デザイン計画について

問 デザイン画では、マルシェとかスイーツの店が整備されることになつているが、全国的にあるような施設。北陸新幹線が開通したからといって直ちに足を運んでくれるのか。客が来てくれるまで、人気の有名ブランドショップとかを引っ張って呼び水にはどうか。

答 有名パティシエと市内事業者とのコラボレーションショップなどで金ヶ崎エリアにしかない店舗の誘致などで誘客につなげていければと考えている。

9月定例会での理事者の答弁について

問 令和6年は2年に一度の市総合防災訓練の該当年になる。要支援者の避難訓練を組み込む計画はあるのか。

答 実施の方向で協議を進めている。最寄りの公民館まで車いすなどを活用して避難するなど、各地区の取組みを参考に、具体策を検討する。



松宮 学
(日本共産党
敦賀市会議員団)

介護保険について

問 小規模多機能型居宅やグループホームへの需要が増加しているが第9期の計画での増設はあるのか伺う。

答 施設整備については、現在、介護保険事業計画等策定委員会の中で審議を重ねている。

問 物価高騰で市民の生活は困窮している。中でも低所得高齢者の生活は大変であり、介護保険料の値上げは据え置くべきと考えるが見解を伺う。

答 国の通知を踏まえ、基金残高を保険料の抑制に充当するなど策定委員会で審議いただき、適切な保険料設定に努めたい。

問 高齢者の総合相談窓口の支援センターに職員を加配できる委託費の見直しなどが必要ではないか伺う。

答 各センターの配置職員の増員予定があることは伺っており、委託費については見直しを進めている。



山本武志
(市民クラブ)

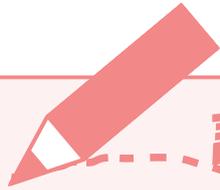
企業参入と市民生活の安全について

問 市内で事業を開始したデータセンターからの騒音に対し周辺住民から苦情の声が上がりが、事態の改善に向けた対応を続けたものの、最終的には本年夏頃に事業撤退された。一連の対応をした市として、今回の件をどのように総括しているのか伺う。

答 市が間に入っても解決が困難なときにこそ、解決の糸口を探す努力を怠らず、住民の方と約束した内容については確実に実施することなど、丁寧な対応により継続的な信頼関係を築くことが大切であり、こうした認識に立ち、今後の苦情対応や環境公害に対する取組みに生かしていきたいと考えている。

問 再発防止の観点から、企業参入に対する実効的な対策を私なりに6点提案するが市の考えを伺う。

答 これから我々が想定していないことも起こり得ると思うので、それぞれ誠実に対応していきたい。



議会日誌

令和5年10月12日以降の主な議会活動の紹介です

10月

- 16日 (月) 総務民生常任委員会行政視察 (～18日)
- 19日 (木) 文教厚生常任委員会行政視察 (～18日)
- 20日 (金) 広報広聴委員会
- 23日 (月) 福井県市町議会議員合同研修会
- 27日 (金) 産経建設常任委員会行政視察 (～24日)
- 27日 (金) 議会運営委員会行政視察

11月

- 2日 (木) 広報広聴委員会
- 15日 (水) 議員研修会
- 16日 (木) 議会報告会
- 17日 (金) 議会報告会
- 20日 (月) 出前議会報告会
- 21日 (火) 議員説明会、出前議会報告会
- 22日 (水) 各派代表者会議、議会運営委員会
- 28日 (火) 議員説明会
- 29日 (水) 議会運営委員会、全員協議会、本会議 (開会)、予算決算常任委員会全体会
- 30日 (木) 予算決算常任委員会全体会・分科会
- 30日 (木) 議会運営委員会

12月

- 6日 (水) 本会議 (一般質問)
- 7日 (木) 本会議 (一般質問)
- 8日 (金) 議会運営委員会、本会議 (一般質問)、議会運営委員会 (本会議終了後)
- 11日 (月) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
- 12日 (火) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会
- 13日 (水) 廃棄物対策特別委員会
- 14日 (木) 予算決算常任委員会全体会、各派代表者会議、広報広聴委員会
- 19日 (火) 議会運営委員会、全員協議会、本会議 (閉会)
- 21日 (木) 出前議会報告会

1月

- 19日 (金) 福井県市議会議長会議員研修会
- 25日 (木) 広報広聴委員会

2月

- 7日 (水) 広報広聴委員会
- 8日 (木) 総務民生常任委員会行政視察



敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去 (平成31年から) の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157
 住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号
 発行所: 敦賀市議会
 委員: 中山道、山本貴子、山本武志、三村本村、橋本武峻、河瀬彬穂、大瀨太穂、川端耕平、副委員長、広報広聴委員長

編集委員



3月定例会の日程 (予定)

2 February ~ 3 March						2024
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
2/18	19	20	21 本会議 (議案説明・質疑)	22 予算決算 常任委員会	23	24
25	26	27 予算決算 常任委員会	28 予算決算 分科会	29	3/1	2
3	4	5	6 本会議 (採決・代表質問)	7 本会議 (代表・一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9
10	11 常任委員会	12 特別委員会	13 特別委員会	14 予算決算 常任委員会	15	16
17	18	19 本会議 (報告・採決)	20	21	22	23